

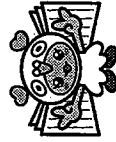
2019年7月5日(金曜日)

2204号

(毎月5、15、25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物認可

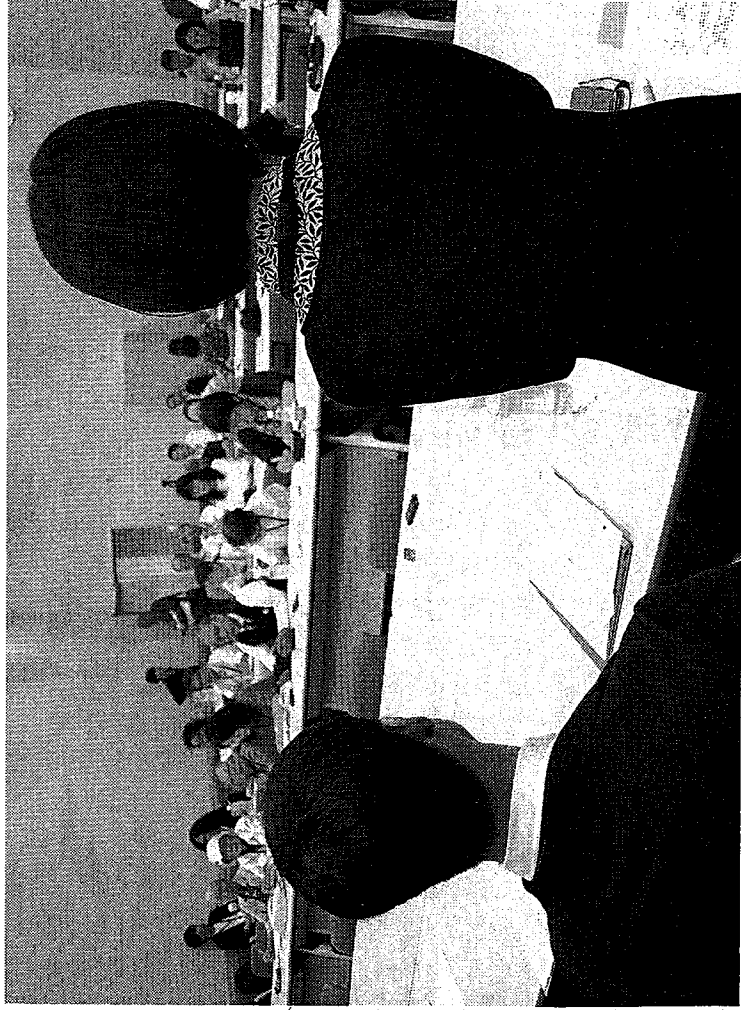
1部140円 月額400円 (郵送料/月額123円)



平和新聞

発行 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX03(3451)6277
 FAX03(3451)6277
 03(3451)6277
 03(3451)6277
 E-Mail (編集部) heishin@j-peace.org
 http://j-peace.org



防衛大いじめ人権侵害裁判 塀の中での“絶対服従” 国会報告集会で実態生発

6月25日、防衛大学校(神奈川県横浜須賀野市)でのいじめ人権侵害事件について、裁判をたたかう原告の男性や母親を招き、国会報告集会(日本平和委員会、防大人権侵害裁判を支援する会など4団体で主催)が開かれました。自衛隊内でのいじめや暴力によって自殺に追い込まれた事件の被害者家族や弁護団も駆けつけて訴え。集会に先立ち、防衛省交渉も行われました。

国会報告集会でAさん(左)と母親がマイクを握って発言。防衛大の中で起きたつらい体験を語ったのは6月25日

原告のAさんは2013年に防衛大に入学しました。新生歓迎会では「余興」として4年生がいとやうな2年生が空気をさせられました。Aさんはそれを見てかなり異常な世界だと思ったと話します。「足がガクガクしてきて転倒したり、蹴られたり、お腹を殴られて、『お前、面白くない。これを見ながらダンスとかお菓子を食べないぞ』と言われました」。防衛大は全寮制で、部屋は全て先輩と同等。上級生への絶対服従を徹底され、上級生が下級生を「指導」する学生間指導では、暴力や虐待が日常的に行われています。1年生が「相対」をした場合、上級生がポイントを加算し、ポイントが貯まると罰ゲームが待っています。

Aさんは風俗店で性行為をするように強要され、それを拒んだことにより、体にアルコールをかけられ、火をつけられる虐待を受けました。その後もうきまじい暴力やセクハラ、いじめが続き、追い詰められていきました。「もつとどういこうきな人もたくさんいます。でも、自分の周りでは多くが経済的に苦しく、学校をやめると他にいく道がないからと言っておきめられました」。Aさんが防衛大に入らな

ったのは、中学生の時に地元で豪雨災害が起き、助けくれたのが自衛隊だったからでした。「自分も人助けをできる人になりたいと思って入学しました。でもこのままでは自分がされてきたことを後輩にしないと、自分がまたやられるという世界になってしまふ。それは防衛大に入った理由とは違いますが、人を助ける組織であってほしい、防衛大や自衛隊が変わってほしいという思いで、この裁判を起しました」

と願ったのは、中学生の時に地元で豪雨災害が起き、助けくれたのが自衛隊だったからでした。「自分も人助けをできる人になりたいと思って入学しました。でもこのままでは自分がされてきたことを後輩にしないと、自分がまたやられるという世界になってしまふ。それは防衛大に入った理由とは違いますが、人を助ける組織であってほしい、防衛大や自衛隊が変わってほしいという思いで、この裁判を起しました」

ストレスのはげ口

2016年3月、Aさんは国に加害学生8人に対して慰謝料を求め、訴訟を起しました。集会では、弁護団の井上眞井護士が裁判の経過を報告。「防衛大で原告が受けた被害は全く終わっていない」と言います。「私たちが弁護団には、日常的に防衛大の現役学生や

親御さんから内部告発のような相談がきます。中には、「息子や娘が防衛大に入ると口にするものは知られるようならこい事案があります。『学生間指導』を口実に、暴力や制裁、いじめをすることが、ストレスのはげ口になっている。あるいは、暴力的な指導をすることが幹部自衛官としてさわわしいと誤解されている節があるのではないか」と指摘します。

今年2月5日、福岡地裁は被告学生8人中7人に総額95万円の賠償を命じ、判決が確定しました。国に対する裁判は6月12日に結審し、10月3日に判決言い渡されます。

一石投じたことで

「息子が声を上げたことさえも消えろとする、向き合おうとしない防衛大の体質に、本当に怒りやめず」。追い詰められたA

さんや何人が救おう奔走し、立ち上がった母親は、声を震わせました。「入学した時は、息子と同じような気持ちで入った

口にするものは知られるようならこい事案があります。『学生間指導』を口実に、暴力や制裁、いじめをすることが、ストレスのはげ口になっている。あるいは、暴力的な指導をすることが幹部自衛官としてさわわしいと誤解されている節があるのではないか」と指摘します。

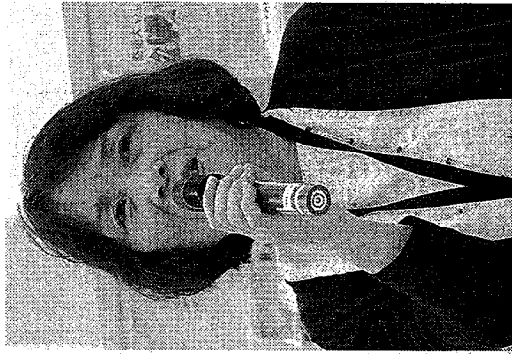
「裁判をするだけで、こいつら実態があるところを明らかにし、息子が声を上げて一石を投じたことで、その波紋がみなさんの力に広がっていると感じています。第2第3の被害者を生まないために、着々と防衛大に行こうかなと考えた時に、やっぱりめんどくさい一人でも二人でも思ってくれたら、息子が声を上げた意義があったと思います。みなさんの協力をよろしくお願いいたします」

2月5日、福岡地裁は被告学生8人中7人に総額95万円の賠償を命じ、判決を下した



高嶋社 会を生きて
人たちの
メッセージ
として、昭
和女子大学
総長・坂東
眞理子さん
の著書70歳のたしなむ
(小学館)を読みました
▼「高嶋社になる」と、心
の在り方、他人との関係
が大事になってきます。
有形資産よりも無形資
産。それを若い頃から積
み増していかなければな
りません。無形資産の残
高が生活の質を決めてい
くのではないかと感じま
す。「私は失敗を重ね
て生きています。けれど
自分を守りつづけるため
またまた失敗は成長の
余地がある、伸びしろ
があふれているように
しています」▼自分の人
生を肯定する、孤独を楽
しむ、身近な人の成功を
喜ぶなど、意欲のある言葉
に共感しました▼先日、
日本平和委員会第69回定
期全国大会が東京で開か
れました。各地の具体的な
報告から多彩な平和運
動が大きな広がりを見せて
いることを実感しまし
た▼一方、会員の拡大は
前大会較に伸びません
でした。会費が増えない
理由として「高嶋社が進
んで…」という嘆きの声
が聞かれます。「高
嶋社とは何か」と坂東眞
理子さんは問題提起か
けておられるのではない
でしょうか。(c)

ウの目ハトの目



護衛艦「さわき」人権侵害裁判元原告の樋口さん

憲法のもとで

「私の息子は1989年11月8日、佐世保基地に所属する護衛艦「さわき」の船の中で亡くなりました。その日は21歳の誕生日でした。護衛艦「さわ

き」人権侵害裁判の元原告、樋口の子さんも、集会で体験を語りました。海上自衛隊だった息子さんは、上官から執拗(しつよう)ないじめにあい、自衛隊から出された調査報告には「いじめなかった

「議員としての技能が低かったために上官は厳しく指導せざるを得なかったなど書かれていました。」「息子への思いは誰にも止められない。司法に訴えるしかないと思いました。」「2001年、樋口さんは真相を明らかにしようと裁判を起こします。08年、福岡高裁は上官によるいじめを認め、国に350万円の賠償を命じました。現在、樋口さんは、「自衛隊の命を守る家族の会」を立ち上げ、被害者や家族を支援しています。集会に先立ち行われた防衛省交渉にも参加しました。

「20年たつて今日、防衛

自衛隊人権侵害裁判元原告の発言

防人権侵害裁判を支援する会の前瀬瀬広事務局長

らると、その成果を国民に

自衛隊内でのいじめや暴力によって自殺に追い込まれた事件の被害者家族も駆けつけ、裁判のたたかひや思いを発言しました(詳細を左)。

と、指導教官の「教育者」としての責向上を願

呼びかけました。

防衛省交渉では、防衛大いじめ人権侵害裁判の原告の

「一面の横暴」

「改憲問題対策法律家6団体連絡会」に加わる日本民法

交際と集会を終え、皆さんの母親はこう語ります。「10月の判決で勝つか負けるかは裁判長のさじ加減

真実はゆるぎない

「10月の判決で勝つか負けるかは裁判長のさじ加減

「10月の判決で勝つか負けるかは裁判長のさじ加減

「隠された証拠」

「隠された証拠」

真実はゆるぎない

「隠された証拠」

「隠された証拠」



護衛艦「たちかぜ」人権侵害裁判元原告の女性は、「亡くなった息子への思いを語った」

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

真実はゆるぎない

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

真実はゆるぎない

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

真実はゆるぎない

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛

「(Aさん)は母さんが一生懸命救って、こうしてみんなの前で訴えることができた。息子が申し訳なかった。」「20年たつて今日、防衛



集会に先立ち、防衛省(写真右側)と交渉=6月25日

いよいよ歴史的な参院選挙が7月4日公示、21日投票が行われます。この選挙は、憲法9条改憲と日米軍事同盟強化、「戦争する国づくり」を進める安倍政権に、厳しい審判を下す絶好のチャンスです。すでに立憲4野党・1会派は、全国の1人区選挙区すべてで野党統一候補を擁立し、「安倍法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」との間で18項目の共通政策に合意しています。共通政策とは、安倍9条改憲反対、安保法制・共謀罪などの廃止、膨張する防衛予算・装備の憲法9条の理念に照らした精査と国民生活への振り向け、沖縄・辺野古新基地中止と環状高基地の撤去、日米地位協定の見直し、東アジアにおける平和の創出と非核化の推進、原発ゼロの実現など。平和委員会をはじめ平和を求める広範な人々の要求がしっかりと盛り込まれています。この政策を掲げる議員が多数選出されるならば、安倍政権の悪政を転換し、憲法にもつづき平和政策を進める巨大な力になります。こうした要求を長年訴えてきた全国の平和委員会の仲間が、いまその力を發揮する時です。平和委員会の仲間が今

ハトの呼びかけ

参院選で平和の審判を

号の平和新聞を手にとって、あらゆる場で広範な人々に、野党共通政策の重要性を知らせ、支持の輪を広げましょう。また、地域で取り組んでいる平和の課題を、市民と野党の共通の政策に反映する努力を行きましょう。たとえば、核兵器禁止条約に署名する政府をつくることや、6000億円もの血税を注ぎ「イスラエル」配備計画に反対すること、1機116億円もする次期機F35戦闘機を105機も購買し、これを搭載する事実上の空母をつくる計画に反対すること、米軍・自衛隊のオスプレイ配備計画への反対など。各地で市民運動が盛り上がりつつある地域では、こうした政策が野党統一候補の政策に盛り込まれ、選挙がたたかかれる状況が生まれています。あわせて、平和委員会としては、日米軍事同盟(日米安保条約)をなくす政策を掲げる政治勢力の前進こそ大事なこと、審判に訴えたいきましょう。そうした政治勢力が前進してこそ、平和と憲法を守る確かな力になります。いよいよ安倍政権との決戦の時です。参院選挙でしっかりと平和の審判を下すために、共に頑張